

### Ⅲ 教 育 課

#### 1 学校経営

##### (1) 教育委員会が設置する学校

学校名	住所	校長名
蟹江小学校	城四丁目500番地	伊藤 辰男
舟入小学校	舟入三丁目70番地	神田 雅彦
須西小学校	須成西六丁目114番地	斎藤 和憲
新蟹江小学校	大字蟹江新田字仲川原198番地	加藤 邦彦
学戸小学校	学戸四丁目236番地	小坂三千代
蟹江中学校	宝三丁目20番地	今井 雅良
蟹江北中学校	須成西九丁目55番地1	伊藤 明雄

##### (2) 学校経営の状況

設置する学校の経営は、校長が作成する「学校経営案」に基づいて行われる。  
学校経営案は、各学校が公表している。

##### (3) 学校経営の評価と改善（学校評価）

###### ① 学校評価の実施状況

学校教育法施行規則第66条、79条により、各学校は学校運営の状況について、自己評価を行っている。

平成24年度の各学校の評価（平成24年度の評価と平成25年度に向けての改善事項）は、平成25年3月31日までに教育委員会に報告された。

自己評価の分析結果と改善策は、保護者を中心に学校だより等で公表している。

###### 【各学校の報告（見出し）】

- 1 本校の教育目標
- 2 平成24年度経営方針
- 3 自己評価（教員、保護者、児童生徒）の結果と分析
- 4 平成24年度の成果と課題
- 5 自己評価に対する学校関係者（評議員等）の評価
- 6 平成25年度への改善策

###### ② 学校の自己評価に対する教育委員会の評価

すべての学校において、校長の学校経営方針に基づいた学校経営が行われている。

自己評価により明らかとなった問題点について、適切な分析が加えられ、次年度への改善策が明確になっている。

学校評議員、PTA役員等の学校関係者に説明・意見聴取の場を設定することで、改善の視点を地域と共有しようとする試みが見られた。

(4) 各学校に委嘱された事業

① 「あいち・出会いと体験の道場」推進事業【愛知県教育委員会】

委嘱校 蟹江町立蟹江中学校・蟹江町立蟹江北中学校

事業目的 本事業を、体系的にキャリア教育を進めていくための体験の一つとして位置付け、職場体験と事前・事後指導を通して、子どもたちが将来の生き方について真剣に考え、働くことや学ぶことへの意欲が向上することを目的とする。

成果 蟹江中・蟹江北中第2学年（359人）を、のべ84事業所に受け入れていただき、職場体験事業を実施した。職場体験の様子は、発表会・冊子作りを通して学年で共有できた。

② 「夢をはぐくむ あいち・モノづくり体験事業」【愛知県教育委員会】

委嘱校 蟹江町立新蟹江小学校

事業目的 本事業を、体系的にキャリア教育を進めていく体験の一つとして位置付け、高学年児童が、モノづくりを直接体験するとともに、モノづくりの達人から「仕事に対する心構え、努力していること、小学校で学んでほしいこと」などの話を聞き、働くことや学ぶことへの基盤をつくることを目的とする。

成果 6学年（85人）が、モノづくりの達人から、植物の育て方とフラワーアレンジの技を教えてもらった。また、子どもたちはモノづくりの達人から、仕事の苦勞や喜び、働くことの意義等を聞くことにより、将来の自分のあり方を考える良い機会となった。

③ 「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」における新学習指導要領の趣旨を踏まえた学力向上等の方策に関する調査研究 【文部科学省】

委嘱校 蟹江町立学戸小学校

事業目的 新学習指導要領の円滑な実施のため、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うための実践研究を推進し、確かな学力の育成を図る。

成果 外部講師を招き、町内の学校の教師を対象に研修会を5回実施した。その研修会において、「算数における充実した言語活動と確かな学力の定着を目指した指導法」について授業研究することで、教師の授業力の向上を図ることができた。また、各学級において、話し合い活動を充実させたことで、子どもたちの学び合う場面が増え、確かな学力を育成できた。

## 2 教育課程

### (1) 教育課程の実施状況（年間授業時数）

教育課程の実施状況は、学校経営案や学校訪問などで確認している。

各学校は、海部地方教育事務協議会で作成された教育課程案を参考にしながら、学習指導要領で定められた内容について、適切な時数により指導している。

平成24年度は、全ての小中学校で標準時数を確保でき、各教科とも履修内容についてはすべて履修できていた。

#### ① 標準時数が確保できた蟹江町立の小中学校数

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
5校	5校	5校	5校	5校	5校
850	910	945	980	980	980

（上段：5つの蟹江町立小学校で標準時数が確保できた小学校数、

下段：文部科学省標準時数）

#### ② 標準時数が確保できた蟹江町立の中中学校数

第1学年	第2学年	第3学年
2校	2校	2校
980	980	980

（上段：2つの蟹江町立中学校で標準時数が確保できた中学校数、

下段：文部科学省標準時数）

### (2) 特別支援教育

#### ① 適正な就学に向けての指導

##### ア 教育相談活動

教育課職員による関係機関との連携、巡回、教育相談により、就学児童の状況や保護者の就学にあたっての考えを的確に把握し、学校（養護学校、特別支援学級）見学を促すことで、就学予定先の教育の特色を保護者に理解してもらうように努めた。

##### イ 就学指導委員会

町就学指導委員会設置要綱により設置した委員会で、専門医等の意見を伺いながら適正な就学先について、慎重に決定している。

#### ② 学校の特別支援教育体制

支援が必要な児童生徒に対しては、「個別の支援計画」「個別の指導計画」を作成し、それに基づいたきめ細かな指導が各学校で行われている。

また、県教育委員会の事業として行われる特別支援学校（養護学校）の巡

回指導を9回受け、児童生徒支援に役立てることができた。

さらに、蟹江町小中学校における医療的ケア実施要綱を定め、平成25年度より看護師資格をもった支援員による医療的ケアを行うことを決定した。

③ 特別支援学級の状況

各学校の特別支援学級の設置状況（在籍数）は、以下の通りである。

学校名	自閉症・情緒障害学級	知的障害学級	肢体不自由学級
蟹江小学校	3	6	2
須西小学校	—	3	—
新蟹江小学校	3	3	—
学戸小学校	5	4	—
蟹江中学校	7	4	—
蟹江北中学校	—	2	—

（数字は、平成24年度在籍児童生徒数）

④ 通級指導教室の状況

平成19年度、通常の学級に在籍しながら、支援が必要な児童生徒の指導のための通級指導教室を蟹江小学校に設置した。

平成24年度、蟹江町内の小学校を対象に16人が指導を受けた。通級指導教室による週あたりの指導時間は1～4時間である。他校からの通級は、2人であった。

通級児童は、この学級で過ごすことで精神的安定が得られ、学級に戻った時に集中できるなど、設置の効果が現れている。

⑤ 通常の学級に在籍する支援が必要な児童生徒の状況

個別の指導計画等を基本とし、スクールサポーターや学校支援ボランティアによる児童生徒支援を行っている。

また、算数を中心として各学校で取り組まれている少人数指導（ティームティーチングなど）も効果をあげている。

(3) 国際理解教育

① 小・中学校におけるALTの活用状況

生きた外国語のコミュニケーション能力の素地を養うことを目的に、英語を母語とする講師を学校に派遣している。

派遣時間は、小学校5校で年間308時間、中学校2校で364時間である。

## ② 外国人児童生徒の状況と対応

蟹江町に外国人登録されている学齢期の児童生徒は56人であり、語学習得のための特別な授業を実施している。そのうち、新蟹江小学校には11人の児童がいるため、愛知県から日本語指導のための学級を設置するために1人の教員が加配されている。

蟹江町としては、指導補助のための日本語指導補助員を配置している。外国人児童生徒の増加に伴い、平成25年度からは補助員による指導時間数を年間35時間増やして対応していくこととした。

## (4) 食育

学校において、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、栄養職員の専門性を生かした食育を推進している。

- ・ 学校における「食に関する指導」年間計画の作成
- ・ 給食の時間等を活用した栄養指導
- ・ 学級担任と協力しての教科指導
- ・ 委員会、クラブ活動等に関わる指導
- ・ 偏食、肥満、痩身、食物アレルギーの指導
- ・ 給食便りを通しての情報提供
- ・ ふれあい給食、給食試食会の企画
- ・ 地域の食材を活用した献立
- ・ アレルギーに対する理解

### [点検・評価]

各学校の教育課程は、学習指導要領にのっとり、適正に編成されている。

通常の学級に在籍する支援が必要な児童生徒への対応は学校体制で行っているが、人的な措置も必要である。教員による支援が物理的に難しいため、支援員（スクールサポーター）の時間数を平成25年度に向けて増やす計画である。

また、障害者基本法の改正に伴う医療的ケアの必要な児童生徒に対する合理的な配慮については、蟹江町独自の要綱を定め、看護師資格をもった支援員を配置して対応することとした。

小学校の外国語活動が、平成23年度から実施されており、ALTを授業で積極的に活用することで、今後さらに充実を図っていきたい。

### 3 生徒指導

#### (1) 生徒指導の状況

##### ① 不登校（病気による欠席を除く年間30日以上欠席した者）

不登校の状況は、毎月、学校から報告を受け、状況を把握している。

学校は、校内不登校対策委員会を設置し、対応について協議するとともに、必要に応じて、教育委員会や関係機関と連携して対応にあたっている。

	小学校	中学校
23年度	8人（0.4%）	45人（4.2%）
24年度	7人（0.4%）	35人（3.4%）

##### ② 問題行動

問題行動の発生状況は、教育委員会に報告され、関係機関と協力しながら、問題の解決に当たるようにしている。

報告件数は27件で、校内生徒指導上の問題として指導が行われた。

区分	小学校	中学校
対教師暴力（件）	0	5
生徒間暴力（件）	0	12
対人暴力（件）	0	1
器物破損（件）	0	9

##### ③ いじめ

未然防止のために日頃から指導を徹底するとともに、日頃の児童生徒観察やいじめアンケートを通して早期発見・対応に努めるようにしている。

また、いじめを認知した場合は、全校体制でその解消にあたる。

	小学校	中学校
いじめ認知件数	3	6
解消した件数	3	6

（平成24年度：蟹江町での認知件数）

#### (2) 学校生活適応指導教室「あいりす」

##### ① 入室状況

平成24年度当初の5月の入室者は6人であった。その後、入室者が増え年度末には9人となった。入室者の多くは、中学生で内2人が3年生であったが、いずれも進学した。

	小学生	中学生
入室者	3	6
体験入室者	0	1
訪問指導	0	0

(平成24年度末)

## ② 活動状況

### ア 指導体制

- ・ 指導員 1人(常勤)
  - ・ 指導補助員 7人(非常勤、1日の勤務者は、2～3人)
- 指導に関わる職員が、入室者を的確に把握して指導する必要があるため、月に2回スタッフ会議を開いて情報の共有を行う。

### イ 活動内容

日常の学習活動や適応指導に加え、入室者の社会性を育むために、月に2～3回程度の行事を計画し、実施した。

入室児童生徒のうち、学校の行事や特定の教科で学校に登校できるものについては、あいりすも協力しながら登校を促した。

### 〔点検・評価〕

不登校については、各校とも全校体制で取り組み、共通理解を図りながら、不登校児童生徒の未然防止や学校復帰などで、小中学校ともに昨年度よりも減少し、一定の成果をあげている。

また、「あいりす」を中心とした不登校対策は、児童生徒の的確な把握と学校との連携を通して、引きこもり児童生徒の「あいりす」への入室など着実に成果をあげている。さらに今後は、他地区の適応指導教室との情報交換や指導者の研修を充実させていきたい。

対人暴力や器物破損などの問題行動については、毅然とした態度と指導で臨みながら、本人の反省を促し、立ち直らせていく指導を行い、問題の解決に努めている。

いじめについては、大津の事件を受け、各学校でいじめに対する認識を再確認し、定期的にアンケート調査を実施し、早期発見・早期対応を行い、その解決に努めることができている。

生徒指導上の問題は、学校が抱え込むのではなく、関係機関や地域と連携して解決を探ることが重要であるため、教育委員会としても学校との情報交換を密にしていきたい。

4 学校への人的支援（蟹江町教育委員会で行っているもの）

(1) スクールサポーター（個別の支援が必要な児童生徒）

① 配置する目的

- ・ 支援が必要な児童生徒への補助
- ・ 児童生徒の教育相談

② 配置人員・勤務時間数（平成24年度）

学校名	人員	学校時間数	主な業務
蟹江小学校	2	1 1 2 0	特別支援が必要な児童の補助など
舟入小学校	1	4 2 0	同
須西小学校	1	4 2 0	同
新蟹江小学校	2	1 0 5 0	同
学戸小学校	1	8 7 5	同
蟹江中学校	2	9 4 5	特別支援が必要な生徒の補助など 特別支援学級運営補助、教育相談補助
蟹江北中学校	2	8 4 0	特別支援が必要な生徒の補助など 特別支援学級運営補助、教育相談補助

(2) スクールサポーター（外国人児童生徒の日本語指導）

① 配置する目的

日本語の習得が不十分な児童生徒への日本語指導補助

② 配置人員・勤務時間数（平成24年度）

学校名	人員	学校時間数	主な業務
蟹江小学校	1	1 4 0	日本語指導のための個別指導補助
新蟹江小学校	2	1 4 0	同
学戸小学校	1	1 0 5	同
蟹江中学校	1	7 0	同

(3) 学校支援ボランティア

① 制度について

蟹江町の学校を地域で支えるという趣旨で、広くボランティアへの登録を呼びかけている。

ボランティアの活用は、名簿に登録された方を学校に紹介し、学校が教育活動を推進する上で必要な場合をお願いする形をとっている。

制度の広報は、HP・広報への掲載、学校を通して周知している。



② 登録状況

平成24年度の登録者は、88人であった。

③ 活用状況

支援が必要な児童生徒への補助、図書の読み聞かせ等を中心に活用が図られた。

[点検・評価]

支援が必要な児童生徒への対応を中心に、スクールサポーターや学校支援ボランティアが果たす役割は大きく、学校教育に大きく貢献している。平成25年度に向けてスクールサポーターの担当時間数増を計画している。

また、学校支援ボランティアの登録者数も年々増加し、学校にとってなくてはならない存在になってきている。

## 5 安心・安全な学校

### (1) 小・中学校の施設整備

安心・安全な教育環境整備のため、小中学校校舎の補強や改修を行った。

工事名

- ・蟹江小学校下水道切替工事
- ・蟹江小学校駐車場舗装復旧工事
- ・舟入小学校本館前スロープ改修工事
- ・舟入・新蟹江・北中温水シャワー設備設置工事
- ・舟入小学校配膳室エアコン設置工事
- ・須西小学校4年2組・第2図書室床張替え工事
- ・須西小学校プールサイド床コンクリート補修工事
- ・新蟹江小学校防火シャッター取替工事
- ・新蟹江小学校本館漏水改修工事
- ・新蟹江小学校プール濾過装置修繕工事
- ・学戸小学校黒板修繕工事
- ・蟹江中学校受水槽取替工事
- ・蟹江中学校・蟹江北中学校運動場補修工事
- ・蟹江中学校・蟹江北中学校バスケットコート改修工事
- ・蟹江北中学校防球ネット修繕工事
- ・蟹江北中学校温水シャワー設備設置工事 ほか

### (2) 学校施設の保守点検と日常の警備

学校施設は、教職員による日常の安全点検に加え、定期的に専門業者による点検を行っている。

施設・設備	主な点検内容	点検回数
電気関係	漏電、配電設備点検	年6回
給食ダムウェイター	安全点検	年4回
浄化槽	浄化槽の状態、水質等	定期的に点検
運動施設・遊具	破損、異常の有無、整備状況等	年4回
防災設備	警報装置、消火施設等点検	年2回
施設警備	機器による火災通報、防犯業務	終日 職員不在時

日常の防犯警備（夜間）は、警備保障会社による機械警備を行っている。

(3) スクールガードによる学校安全の確保

町防犯担当の嘱託職員による児童下校時間帯の巡回パトロールによる安全指導や、各地区のスクールガードによる児童の見守りにより、安全確保がなされている。各学校も、低学年下校を中心に教職員が引率するなど、安全確保に努めている。

また、蟹江小学校では、かにかっ子見守り隊が、校内に常駐し、児童の安全を見守っていただいている。

(4) 不審者等の緊急情報の発信（「きずなネット」の運用）

蟹江町教育委員会では、平成18年度より中部電力「きずなネット」による緊急メール配信事業を行っている。

① 加入状況（平成24年度）

学区	保護者登録数	地域防犯登録数
蟹江小学校	726	562
舟入小学校	83	300
須西小学校	296	259
新蟹江小学校	397	421
学戸小学校	545	395
蟹江中学校	580	791
蟹江北中学校	383	490
教育委員会・教職員	180	

② 緊急情報配信状況（平成24年度）

内規により、受信した不審者情報等の緊急情報は、その発生状況（日時・場所・内容等）により、3段階に分類して配信している。

配信した緊急情報は、以下のとおりである。

配信先	件数
教育委員会・教職員	4
教育委員会・教職員・地域防犯	18
教育委員会・教職員・地域防犯・保護者	5

(5) 安全への啓発

① 不審者情報伝達訓練

内 容 「海部管内の小学校に、男から『子どもを誘拐する。』という予告の電話が入りました。現在、警察が対応しておりますが、児童生徒の安全確保に万全を期すようにしてください。」という不審者情報の設定で、児童生徒が安全に下校できる学校の警備体制、地域による見守り体制等について確認する。

実施日時 平成24年5月24日（木）午後1時から

訓練参加団体 学校7校（小学校5校、中学校2校）・保護者  
地域防犯団体（21団体）  
きずなネット地域防犯登録者（1285人）

訓練参加者 各小中学校児童生徒・教職員  
地域防犯・保護者（1021人）

② 児童生徒への防犯ブザーの配付

教育委員会から、小学1年生に防犯ブザーの配付を行っている。

〔点検・評価〕

日常の安全管理については、施設管理等に関する法令等に基づき行っており、今後も児童生徒の安全のため実施していく。また、修繕や改修工事等も限られた予算の中で計画的に取り組んでいく。

児童生徒の安全確保のための見守りは、地域住民や保護者をはじめ、地域防犯団体やPTAの協力を得て行われている。特にスクールガードについては、情報交換や研修を目的とした推進員対象の連絡協議会等の実施について、今後検討をしていきたい。

緊急メール配信、安全マップの配付等は、地域、保護者に対して児童生徒の安全に対する啓発として効果がある。特に「きずなネット」については、今後も可能な限り登録してもらえよう働きかけていく。

## 6 学校評議員制度

町学校評議員設置要綱により、各学校の校長の推薦により、4～5名の学校評議員を委嘱している。

学校評議員には、学校行事や授業参観、学校が行う経営方針の説明などをもとに、校長の求めに応じて意見を頂いており、学校運営の参考としている。

## 7 学区検討委員会

蟹江町学区検討委員会要綱により設置した委員会で、小学校の児童及び中学校の生徒の入学すべき学校の通学区制度について調査研究を行っている。

## 8 各種会議

### (1) 会議

#### ① 町いじめ・不登校連絡協議会

開催日（場所）	内 容
平成24年 7月19日 (蟹江中央公民館)	【協議事項】 ・協議会長選出（舟入小学校長） ・各学校のいじめ・不登校の状況について ・「あいりす（適応指導教室）」の状況について ・夏休みの生徒指導について
平成24年 12月19日 (蟹江中央公民館)	【協議事項】 ・各学校のいじめ・不登校の状況について ・「あいりす（適応指導教室）」の状況について ・平成25年度に向けて

#### ② 町幼・保・小連絡協議会

開催日（場所）	内 容
平成24年 3月上旬 (各小学校単位)	【情報交換】就学予定児童について

#### ③ 校長・教頭会議

開催日（場所）	議題・連絡依頼事項など
平成24年 4月10日 (舟入小学校)	学校生活適応指導教室「あいりす」について 平成24年度初任者研修について 通級指導教室の運用について

	<p>平成24年度学校訪問予定  平成24年度学校支援ボランティアについて  きずなネット登録の確認について  PTA交付金手続きの流れについて  平成24年度道徳教育総合推進サイトについて  平成23年度「ことばの学習活性化」資料配布について</p>
<p>5月10日  (新蟹江小学校)</p>	<p>「学力向上等の方策に関する調査研究」事業について  平成24年度初任者研修について  蟹江町町立学校転入教職員フィールドワークについて  学校安全緊急情報共有化ネットワーク活用訓練について  特別支援教育指導員の活用について  平成24年度就学指導委員会の予定について  学校巡回訪問について  スクールカウンセラーの活用について  平成24年度学校支援ボランティアについて  子ども議会について  日食における対応について</p>
<p>6月22日  (学戸小学校)</p>	<p>通学路における交通安全の確保の徹底について  情報交換資料の集約結果について  きずなネットの新しい機能について</p>
<p>7月9日  (須西小学校)</p>	<p>夏季休業中の報告が必要な事項と用務員の勤務について  免許状更新講習の取扱いについて  夏休みの課題について  2学期スクールカウンセラー巡回日について  道徳教育総合推進サイトについて  防犯情報について</p>
<p>9月11日  (蟹江北中学校)</p>	<p>小学校運動会、中学校体育祭・文化祭への対応について  就学時の健康診断について  台風等への対応について  熱中症の予防について  学力向上等の方策に関する調査研究事業について  安全マップの作成(改定)について  「公共の場におけるモラル・マナーの向上」について  公立学校等における労働安全衛生管理体制について  いじめ電話相談の状況等について  第2回いじめ・不登校対策協議会の予定について</p>

10月 1日 (蟹江小学校)	蟹江町小中学校スクールサポーター配置事業について 学校訪問（後期）の予定について 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援について 通学路緊急合同点検対策案検討会議について
11月12日 (舟入小学校)	平成25年度儀式等について 平成24年度蟹江町教育委員会表彰について 生徒指導について（不登校児童生徒の推移） インフルエンザによる学級閉鎖等の欠食連絡について
12月 5日 (須西小学校)	冬季休業中の生徒指導ならびに学校管理について インフルエンザへの対応について 学校評価について 3学期スクールカウンセラー巡回計画について
平成25年 1月15日 (新蟹江小学校)	平成24年度卒業式・平成25年度入学式について 平成25年度スクールサポーター配置事業について 平成25年度通級指導教室の運用について 蟹江町幼保小連絡協議会について 平成25年度全国学力・学習状況調査について
2月12日 (学戸小学校)	きずなネットについて 保育要録・幼稚園指導要録について 平成25年度夏季・冬季・学年末休業日について 平成25年度蟹江町学校評議員の選出について 平成25年度小・中学校経営案について 台風・地震等における児童生徒の登下校について 蟹江町立小中学校における医療的ケア実施要綱について アナフィラキシーショックへの対応について インフルエンザの状況について 体罰禁止の徹底及び体罰に係る実態把握について
3月15日 (蟹江中学校)	辞令交付（発令通知）式について 離任式について 平成24年度末・25年度当初の予定について 平成24年度末・25年度当初の提出物について 平成25年度委託事業について 平成25年度モラルBOXの割り当てについて 平成25年度蟹江町教育委員会初任者研修予定について 体力テスト個人票の取り扱いについて スクールサポーター及び日本語指導補助員について

(2) 教員研修事業（教育委員会が指導・助言等を行ったもの）

① 教務主任研修会（場所：蟹江小学校）

開催日	内 容
平成24年 5月29日	【協議事項】校務支援ソフトの活用について 学習指導要領改定への対応について
11月2日	【協議事項】校務支援ソフトの活用について 学校・学級経営における諸問題について
平成25年 2月7日	【協議事項】現職教育研究について 平成25年度週計画表や時間割について 指導要録作成について 学年末における小中連携について

② 事務職員研修会（場所：蟹江中央公民館）

開催日	内 容
平成24年 5月9日	【説明】平成24年度予算配当について
9月27日	【説明】平成25年度予算要望について
平成25年 3月15日	【説明】次年度に向けての取り組みについて

これを含め、年間10回の会合が持たれ、町会計事務について、教育課と学校事務職員との連絡調整を行っている。

③ 特別支援教育部会（場所：学戸小学校）

開催日	内 容
平成24年 7月4日	【研修】通常学級・特別支援学級に在籍する支援が必要な児童への対応について、研修を行った。
平成24年 12月26日	【研修】通常学級・特別支援学級に在籍する支援が必要な児童への対応について、研修を行った。
平成25年 2月21日	【研修】通常学級・特別支援学級に在籍する支援が必要な児童への対応について、研修を行った。

④ 図書主任者会（場所：蟹江町図書館）

開催日	内 容
平成24年 11月22日	【情報交換】各学校の図書館指導や利用の状況について 今年度購入図書について

平成25年 2月19日	【情報交換】町図書館及び図書室の利用状況について 書籍購入希望について
----------------	----------------------------------------

⑤ 初任者研修

開催日（場所）	内 容
平成24年 4月25日 (蟹江中央公民館)	【第1回研修】 【講話】「新しく教員となった皆さんへ」(教育長) 「蟹江町の教育について」(指導主事) 【フィールドワーク】蟹江町教育委員会施設見学
6月18日 (弥生小学校)	【第2回研修】弥生小学校訪問参観 (弥富市、飛島村と合同開催)
8月3・6日 (かにえワークス・カリヨンの郷)	【第3・4回研修】社会奉仕体験活動 社会就労センター・老人福祉施設での業務補助
10月10日 (飛島小学校) (弥富北中校) (学戸小学校)	【第5回研修】道徳教育(道徳授業参観) 研究協議と指導助言 初任者による研究授業 研究協議と指導助言 (弥富市、飛島村と合同開催)